

総合交通対策調査特別委員会 報 告 資 料

令和6年8月23日

報告事項件名	頁
(1) 足立区地域公共交通計画の策定状況について	2
(2) 足立区デマンドタクシー「足タク」の利用状況等について	19
(3) 「足立区地域内交通導入サポート制度」における各地域の取組み 状況等について	24
(4) はるかぜ協働事業対象路線の運賃改定等について	26
(5) 六町駅周辺自転車駐車場の整備状況について	30
(6) 綾瀬東自転車駐車場の民営から区営への変更について	34
(7) つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について	36
(8) メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について	38
(9) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会活動の取組み状況について	39

(都市建設部)

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	足立区地域公共交通計画の策定状況について
所管部課名	都市建設部交通対策課 交通対策担当部新たな交通担当課
内 容	足立区地域公共交通活性化協議会（以下「活性化協議会」という。）における地域公共交通計画の検討状況等について、以下のとおり報告する。 1 交通空白地域の定義の見直しについて（別紙1 P4～12参照） 交通空白地域の定義の見直しについて、前回（5月24日開催）の活性化協議会で事務局案を提示したところ、以下の意見が挙げられた。 （1）前回の活性化協議会で提示した事務局案 これまでの交通空白地域 鉄道駅から1,000m以遠 バス停から300m以遠 ➡ 前回提示した事務局案 鉄道駅から500m以遠 運行本数が30本以上のバス停から300m以遠 （2）活性化協議会で挙げられた意見 ア 交通空白地域の定義について、運行本数を基準にするとデマンド交通のような区域運行型は反映できない。 イ 1日30本以上の運行頻度のバス停のみを基準とすると、それ未満のバス路線は無くしても良いのかと思われてしまう。 ウ 空白地域の定義の考え方については、地域の方の実感に合うようなものにすべき。 （3）公共交通サービス水準の設定 委員からの意見、足立区の特性、他自治体の事例等をもとに公共交通の充実度を判断するための考え方として、「公共交通サービス水準」を新たに設定するものとし、次回の活性化協議会で協議していく。 Lv.7 ● 区内の主要な鉄道駅や利便性の高い複数のバス路線が利用可能 ● 区民だけではなく多くの利用があり交通結節点として重要な役割を担う Lv.6 ● 鉄道駅または利便性の高いバス路線が利用可能 ● 公共交通機関へのアクセスがしやすいエリア Lv.4 ● 一定程度の運行頻度があるバス路線が利用可能 ● 公共交通機関の選択自由度が比較的低いエリア Lv.3 ● バス路線がない、もしくは1時間に1本程度の頻度のバスが利用可能 ● 他の地域に比べて公共交通機関へのアクセスがにくいエリア Lv.1 ● バス路線がない、もしくは1時間に1本程度の頻度のバスが利用可能 ● 他の地域に比べて公共交通機関へのアクセスがにくいエリア

2 交通に関するアンケートの実施結果について

地域公共交通計画作成の参考とするため、次世代の地域社会を担う若年層を対象に下記のとおりアンケートを実施した。

(1) アンケート対象者

小中学生向け、高校生・若者・子育て世代の2パターンで実施

(2) 実施期間

令和6年5月27日～令和6年6月21日

(3) アンケート方法

「きかせて！みんなのいけん」を活用し、オンライン回答

(4) 回答数

ア 小中学生向け 478件

イ 高校生・若者・子育て世代向け 248件

(5) アンケート結果と交通施策への反映方針（案）

別紙2のとおり（P13～18参照）

3 第2回活性化協議会の開催について

(1) 開催日時

令和6年8月28日（水）午前10時00分～

(2) 開催場所

足立区役所 南館8階 特別会議室

(3) 主な議題

ア 公共交通サービス水準の設定について

イ 地域公共交通計画の計画目標や数値指標等について

ウ はるかぜ協働事業路線の運賃改定について

エ 綾瀬駅東口交通広場のバス路線の乗入について

4 今後のスケジュール

年 月 日		実施予定内容
令和6年	8月28日	第2回活性化協議会の開催
	12月	第3回活性化協議会の開催
令和7年	1月～2月	パブリックコメントの実施
	3月	第4回活性化協議会の開催
		足立区地域公共交通計画の策定

交通空白地域の定義の見直しについて

前回の活性化協議会での委員からの指摘

以前の交通計画 平成23年度～平成30年度まで

目標:交通空白地域の解消

交通空白地域の解消を目指し、狭隘道路でも運行できるコミュニティバスの運行を検討

主な施策

- 1 コミュニティバス「はるかぜ」12路線まで拡大
- 2 日暮里舎人ライナーやTXの開通

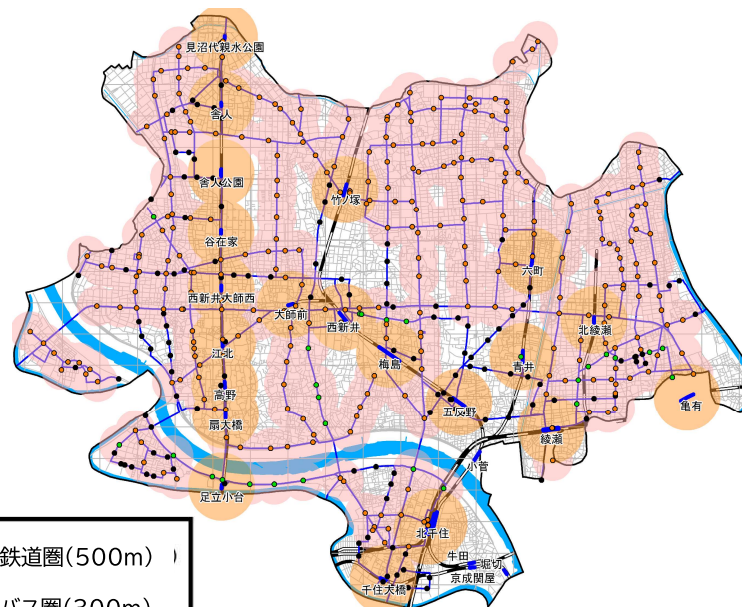
結果 区内の交通空白地域は大幅減少
約31.0% → 約4.4%
(平成13年時点) (令和6年4月時点)

現在の総合交通計画令和元年度～令和6年度

目標:交通不便地域の解消

交通不便度が高かった地区(交通不便地域)を抽出し、ニーズに合った対応を検討

交通空白地域の定義の見直し(案)



	足立区全体	交通空白地域	割合
人口(人)	695,043	138,426	19.92%

交通空白地域

【今までの考え】

鉄道駅から1,000m以遠
バス停から300m以遠の地域

国の指標や
他自治体を参考に

【第1回協議会で提案した見直し案】

バス路線が接続する鉄道駅から500m以遠、
基幹バス(1日30本以上)路線・区間のバス停
から300m以遠の地域

協議会委員からは・・・

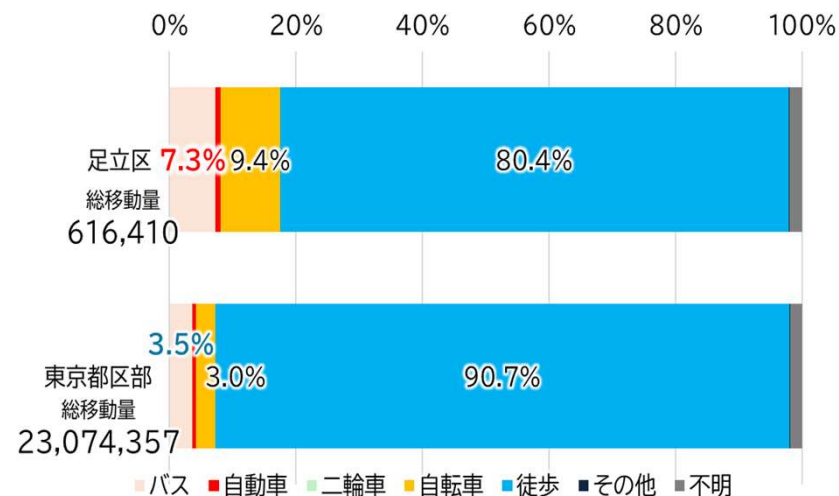
- ▷ デマンド交通や30本未満のバス路線は運行しても反映されない
- ▷ 地域の方から見ても実感に合うような見せ方が必要

交通空白地域から公共交通サービス水準へ

- 高齢者徒歩圏を考慮し、**鉄道駅から500m、バス停から300m**を利用圏とする。
- 足立区の特性として、**バスで駅へ向かう割合が区部平均と比較して2倍以上**のため、バス便数をより細分化してレベル設定
- ビッグデータから移動実態を分析し、移動が集中している**北千住駅などの1日の乗客数2.5万人以上の駅**周辺を、最も公共交通のサービスレベルが高い地域として区切り

➤ バスの運行本数や鉄道駅の規模でレベル分けし、**公共交通サービス水準を設定**

■ 駅を起終点とする移動の割合



出典：東京都市圏パーソントリップ調査(平成30年)

■ 周辺自治体における状況

	自治体名	定義	鉄道駅から	バス停から	摘要
1	北区	利用圏	500m以内	200m以内	北区地域公共交通計画
2	荒川区	定義づけ無し			
3	葛飾区	公共交通のサービス水準	800m以内	300m以内	葛飾区公共交通網整備方針
4	江戸川区	公共交通沿線地域	500m以内	300m以内	江戸川区地域公共交通計画
5	中野区	公共交通サービスレベル	500m～1000m以内	300m以内	中野区地域公共交通計画
6	杉並区	公共交通不便地域	800m以遠	200m以遠	杉並区地域公共交通計画

公共交通サービス水準のレベル設定

Lv.7

- 区内の主要な鉄道駅や利便性の高い複数のバス路線が利用可能
- 区民だけではなく多くの利用があり交通結節点として重要な役割を担う

Lv.6

Lv.5

- 鉄道駅または利便性の高いバス路線が利用可能
- 公共交通機関へのアクセスがしやすいエリア

(令和6年4月1日現在)
足立区人口比平均Lv4.71

Lv.4

- 一定程度の運行頻度があるバス路線が利用可能
- 公共交通機関の選択自由度が比較的低いエリア

Lv.3

Lv.2

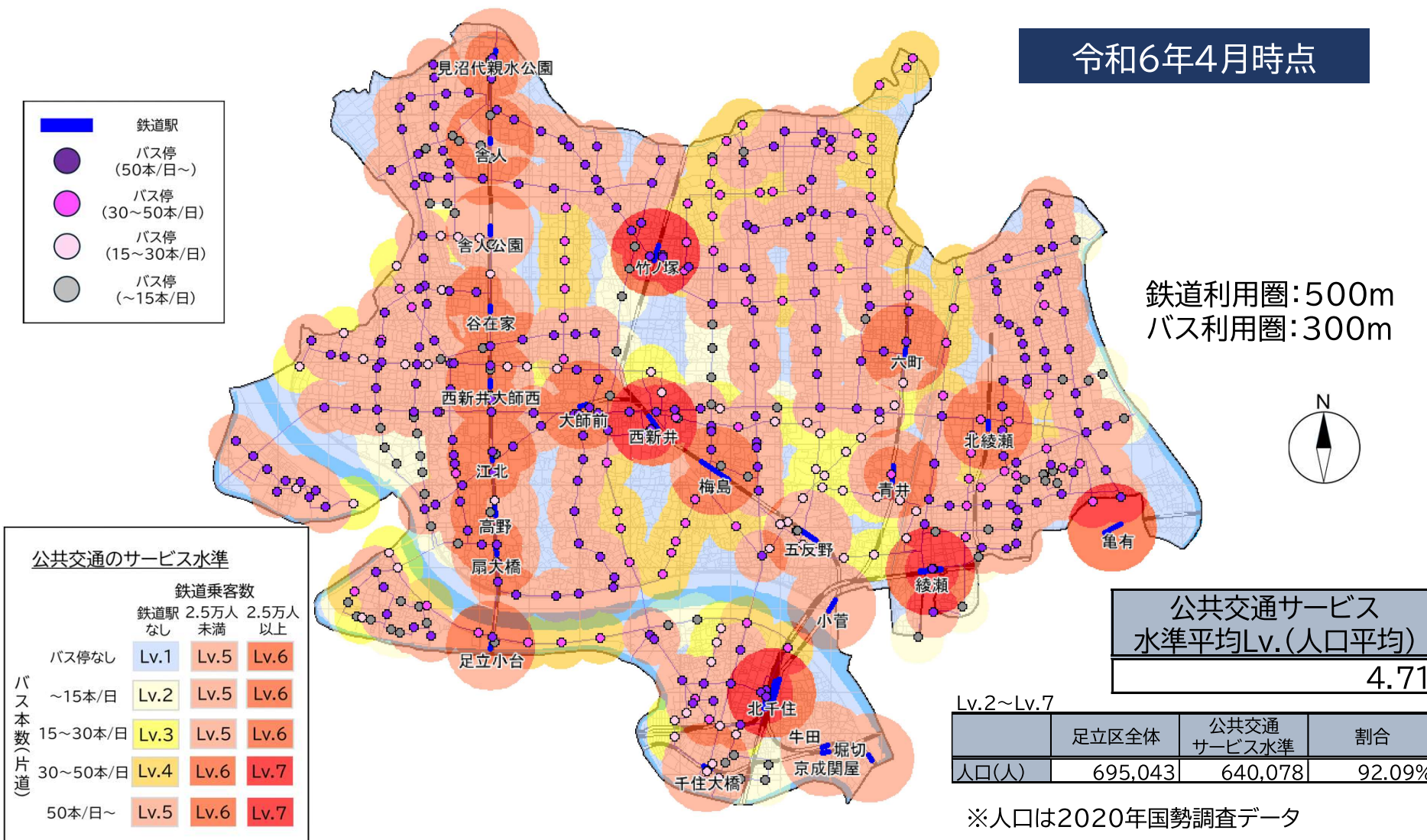
- バス路線がない、もしくは1時間に1本程度の頻度のバスが利用可能
- 他の地域に比べて公共交通機関へのアクセスがしにくいエリア

Lv.1

足立区の公共交通サービス水準の平均レベル

- バスの運行本数や鉄道駅の規模でレベル分けし、**より地域や利用者の実感に近い、公共交通の充実度を客観的に把握可能な指標として設定**

令和6年4月時点



公共交通サービス水準を維持・向上する取組例

<はるかぜ協働事業>

- はるかぜ7路線について、運転士確保のための人件費増額分も含めた運行経費を区が負担し、区とバス事業者が協働して区民の移動手段を確保
- センサー式乗降調査の実施・解析により最適な運行の検討し、公共交通サービス水準の維持を図る

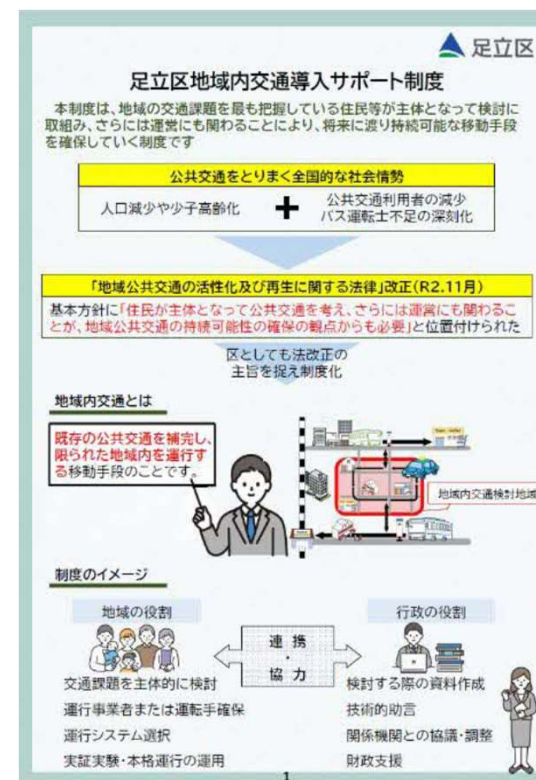


<地域内交通導入サポート制度>

- 地域が主体となった持続可能な交通手段の導入を区がサポートし、区全体の公共交通サービス水準を向上

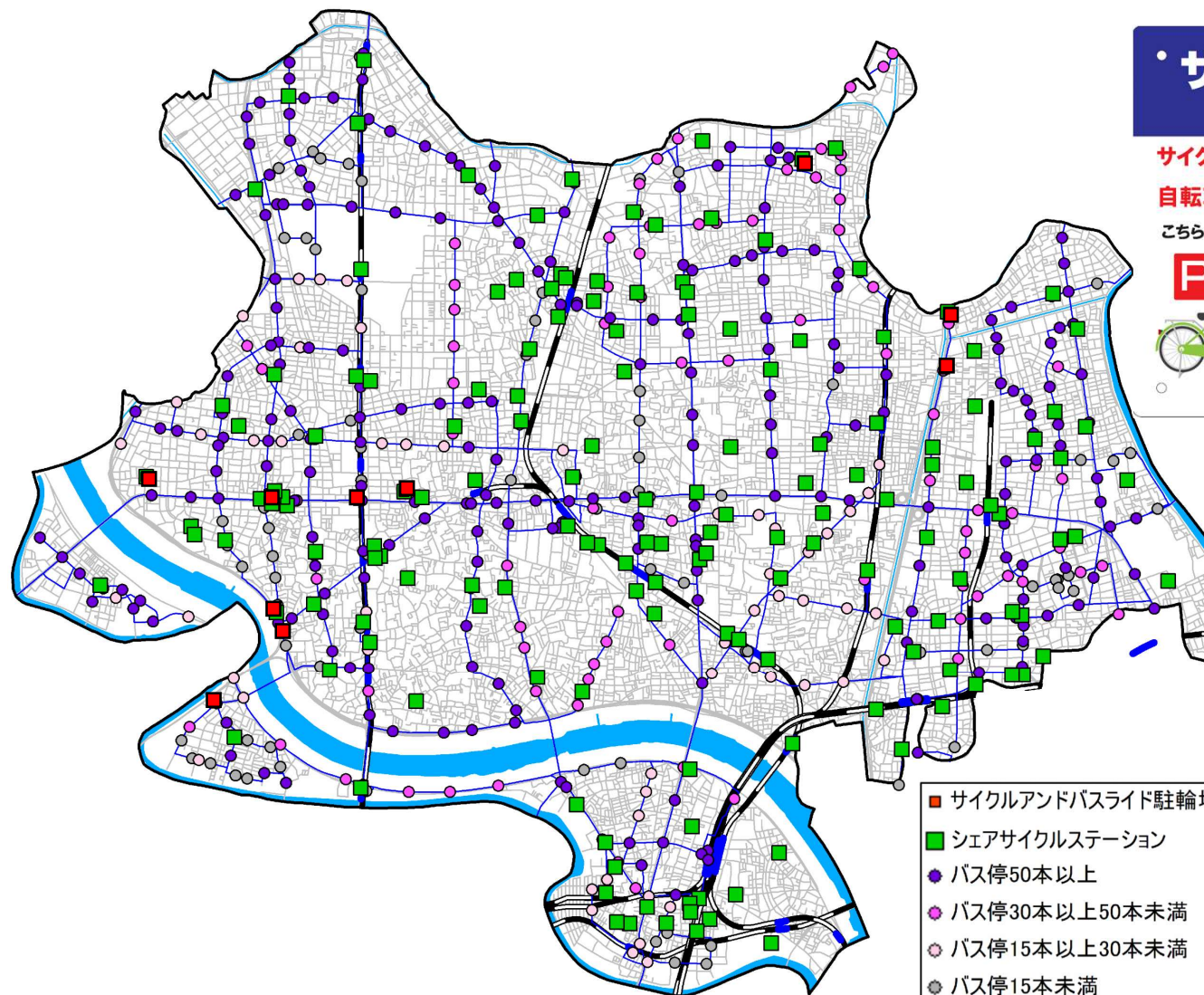
<デマンドタクシー実証実験「足タク」>

- 交通不便感の高い入谷・鹿浜地区において「足タク」を令和6年6月から実施中



他の施策との連携例（自転車活用施策）

自転車で移動が可能な方への駅やバス停までのラストワンマイルの対応として、シェアサイクルやサイクルアンドバスライドとの連携により利便性を促進



・サイクルアンドバスライド・

ご存知ですか？

サイクルアンドバスライドとは、バス停近くの駐輪場に
自転車を止め、バスに乗換えて目的地へ向かうことです。
こちらの駐輪場は、サイクルアンドバスライドとしてご利用いただけます。



区内シェアサイクルポート

- サイクルアンドバスライド駐輪場 10か所
- シェアサイクルステーション 160か所
- バス停50本以上
- バス停30本以上50本未満
- バス停15本以上30本未満
- バス停15本未満

他の施策との連携例（福祉施策）

介助が必要な高齢者や障害者等の特定の方を対象とした移動サービス等との連携



福祉有償運送や福祉タクシー



買い物支援プロジェクト(社会福祉法人愛寿会)

■ 足立区の外出支援の取組

福祉タクシー・自動車燃料補助券の交付	
内容	年1回、区と契約しているタクシーの利用や、区へ登録している車両に給油する際に使用できる助成券の交付
対象	下肢・体幹・移動・平衡機能障がいをもつ人(1級～3級) 視覚障がいのある人(1級・2級) 内部機能障がいのある人(1級) 愛の手帳をもつ人(1度・2度)
福祉自動車燃料補助券の交付	
内容	年1回、身体障がい者本人が運転する自動車や原動機付自転車の燃料費の支払いに利用できる助成券の交付
対象	下肢・移動機能障がいのある人(4級) 内部機能障がいのある人(2級・3級)
有料道路通行料金の割引	
内容	通勤・通学、通勤等の日常生活で有料道路を利用する場合に、通行料金を50%割引
対象	身体障害者手帳をもつ人(障がい者が運転する場合) 第1種身体障害者手帳をもつ人(障がい者が乗車する場合) 第1種愛の手帳をもつ人(障がい者が乗車する場合)
自動車運転免許取得の助成	
内容	第一種普通自動車運転免許を取得する際の費用の一部を助成
対象	身体障害者手帳をもつ人(1～3級) 愛の手帳をもつ人(1級～4級)
身体障がい者自動車改造費の助成	
内容	重度身体障がい者が、取得した自動車を改造する場合に、経費の一部助成
対象	上肢・下肢・体幹機能障がいをもつ人(1～2級)
区営自転車等駐輪場の利用料の免除・割引	
内容	区営自転車等駐輪場の一時利用料の免除
対象	身体障がい者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をもつ人
民営バスの割引	
内容	運賃の割引
対象	第1種身体障害者手帳・愛の手帳をもつ人とその介護者 身体障害者手帳(第1種を除く)・東京都発行の精神障害者保健福祉手帳をもつ人

次回の地域公共交通活性化協議会での検討内容

- 今までのような交通空白地域や交通不便地域に個別対応した施策を実施するのではなく、**足立区全体での公共交通サービス水準の維持向上を図る**
 - 公共交通を取り巻く社会情勢の変化や足立区における課題へ対応するため、**持続可能な公共交通の実現に向けた取組みを設定**
-
- 区域運行する足タクのような新たな交通サービスをどのように評価していくか
(例: デマンド交通の運行頻度をバスの運行本数と比較して評価、利用者のアンケートの満足度から評価 など)
 - 計画に位置付ける目標設定や数値指標をどのように設定するか
(例: 計画期間の令和11年度末までに区全体で平均レベルを維持・向上 など)
-
- **公共交通サービス水準の考え方と合わせて目標設定や数値指標等を次回の地域公共交通活性化協議会にて協議していく**

交通に関するアンケート（若年層向け）の 実施結果について

交通に関するアンケート概要

【調査のねらい】

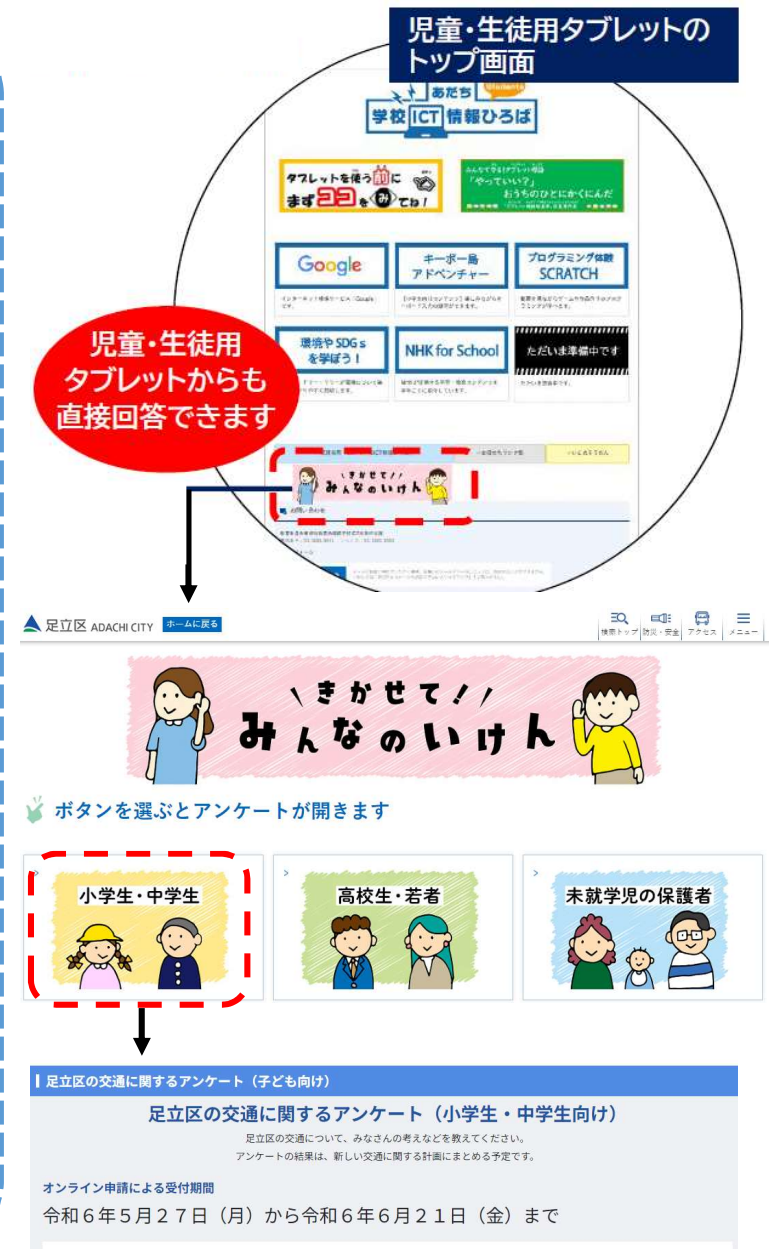
公共交通利用者減少やバス運転士不足等の課題に向けた施策を検討するため、令和5年4月の子ども基本法の施行や10月の地域公共交通活性化再生基本方針の改正を鑑み、**次世代の地域社会を担う若年層の意見を徴収し、計画作成の参考**とする。アンケートを通じて公共交通の課題に触れる「きっかけ」としての効果も期待。

【計画作成で特に考慮する点】

- 小中学生の公共交通機関利用実態
- 小中学生がバス運転士に感じている印象等
- 高校生から子育て世代がバス路線維持に重要と考えていることや期待していること

【調査方法】

- 「きかせて！みんなのいけん」を活用したオンラインアンケート
- 小中学生向けと高校生・若者・子育て世代向けの2パターンで実施



交通に関するアンケート結果①

- (1) 実施期間：令和6年5月27日（月）から6月21日（金）まで
- (2) 小中学生向け、高校生・若者・子育て向け世代の2パターンで実施
- (3) 区内全域から満遍なく**合計726件**の回答を得た

小中学生向けアンケート回答数

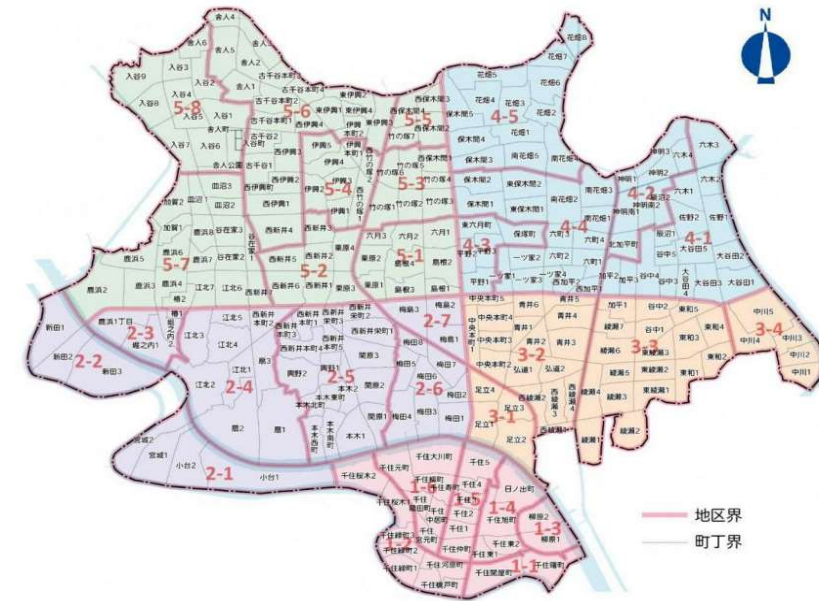
学年	回答数	割合
小学1年生	117	24.48%
小学2年生	47	9.83%
小学3年生	57	11.92%
小学4年生	56	11.72%
小学5年生	41	8.58%
小学6年生	61	12.76%
中学1年生	40	8.37%
中学2年生	41	8.58%
中学3年生	18	3.77%
合計	478	

高校生・若者・子育て向け世代アンケート回答数

年代	回答数	割合
高校生	6	2.42%
大学・専門学生	2	0.81%
10代	2	0.81%
20代	9	3.63%
30代	109	43.95%
40代以上	120	48.39%
合計	248	

地域別回答数（合算）

地域	地域別回答数	割合
1 千住地域	88	12.12%
2 梅田・江北・新田地域	170	23.42%
3 足立・綾瀬・中川地域	148	20.39%
4 六町・花畑・大谷田地域	152	20.94%
5 西新井・竹の塚・舎人地域	168	23.14%
合計	726	



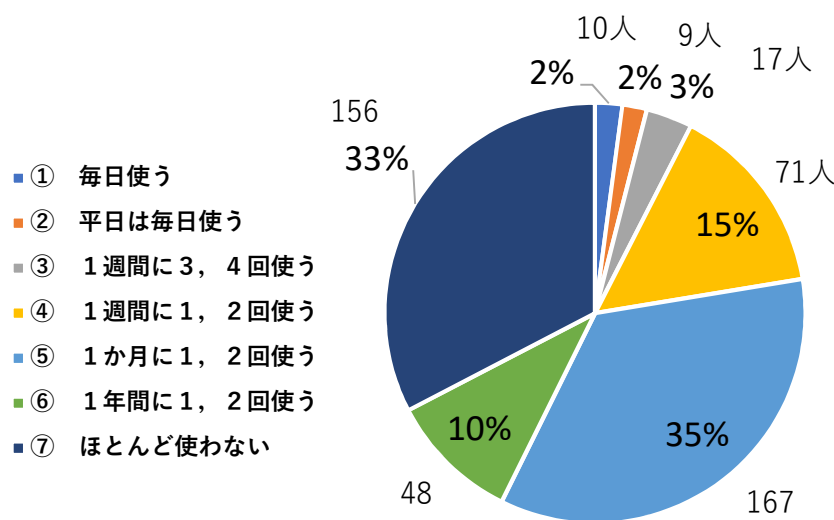
交通に関するアンケート結果②

<小中学生向けアンケート> 小中学生の公共交通機関利用実態

- (1) 小中学生の **1 / 3 はほとんど公共交通を利用することがなく**、利用していると回答したこどもの約半数が月に1、2回以下の低頻度
- (2) 電車・バスのいずれもひとりで乗る割合は少なく、家族で乗る回答が大半（小中学生だけで出かける際は自転車移動が多いと推測される）

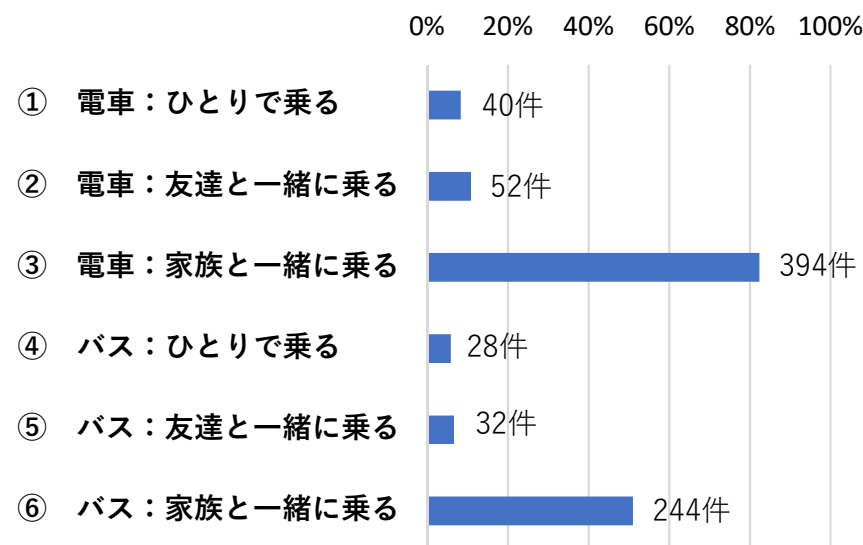
⇒小中学生向けの乗り方講習会等の利用ハードルを下げる施策を検討

問3 公共交通の利用頻度



回答者数=478人

問4 電車やバスを誰と利用するか
※複数回答



回答数=810件 回答者数=478人

交通に関するアンケート結果③

<小中学生向けアンケート> 将来バスの運転士になりたいと思うか

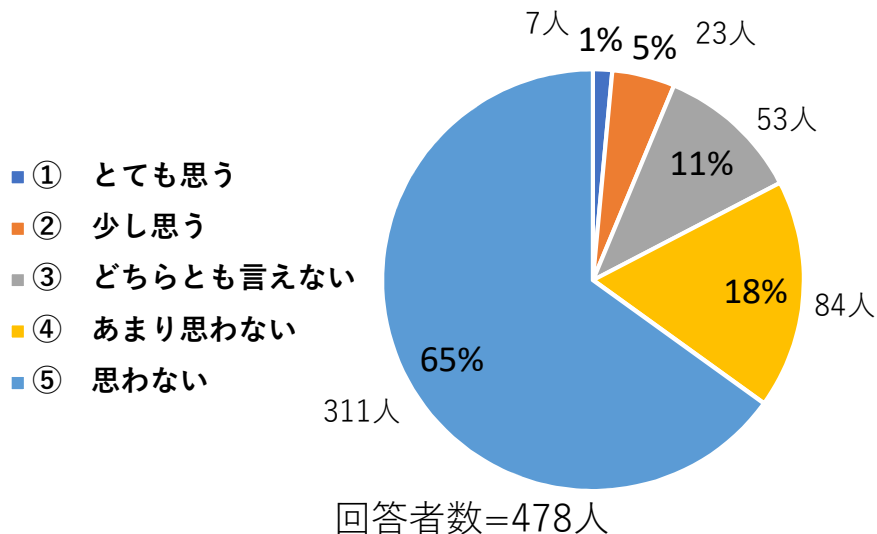
(1) 8割以上の小中学生が将来バスの運転士にはなりたくないと思わないと回答

(2) その理由として、**待遇面やバスの運転に不安がある、女性のイメージがない**といったものが挙げられた

(3) カスハラ問題が背景と推察される**乗客側も意識を変えるべき**という意見も

⇒バス運転士に対するイメージ向上や職場環境整備、乗客側への啓発等の施策を検討

問7-1 将来バスの運転士になりたいと思うか



問7-2 思わない理由

内容	類似件数
運転に不安があるから	31件
他に夢があるから	29件
車酔いするから	20件
女性のイメージがないから	3件
給料が安そう	2件
その他、興味がない等	19件

④⑤の理由回答者数=104人

その他、自由意見欄に寄せられた特徴的な回答

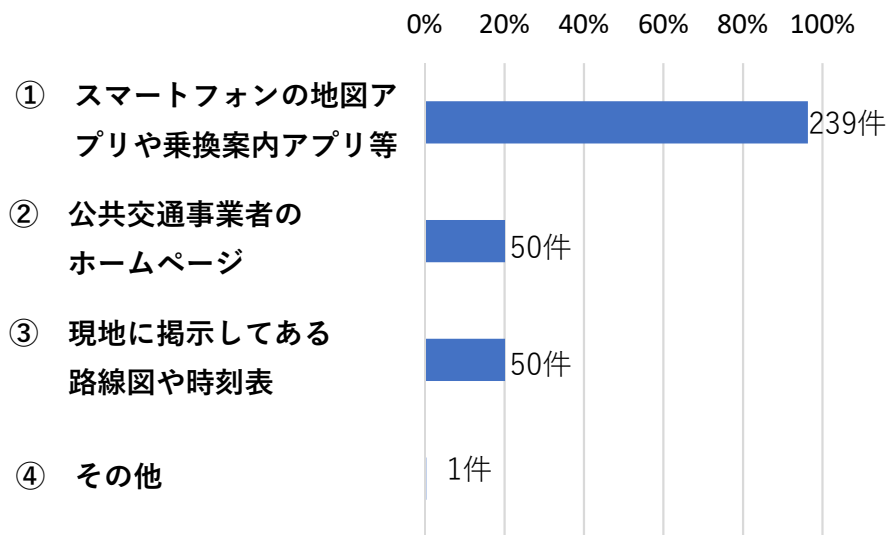
小学5年生	バスに乗る運転手とお客さんが、仲良くすると良いと思う
小学3年生	お客さんが、運転手さんにやさしくするべき、かんしゃのきもちをもつことが大切

交通に関するアンケート結果④

- ＜高校生・若者・子育て世代向けアンケート＞ **ルート等検索方法・重要と思う点**
- (1) 回答者のほとんどが公共交通機関のルートや時刻表はスマートフォンのアプリで確認している
 - (2) **バス停の表示やスマホなどで運行情報が簡単に分かるようにすることが重要**だと考えている人の割合が最も多い

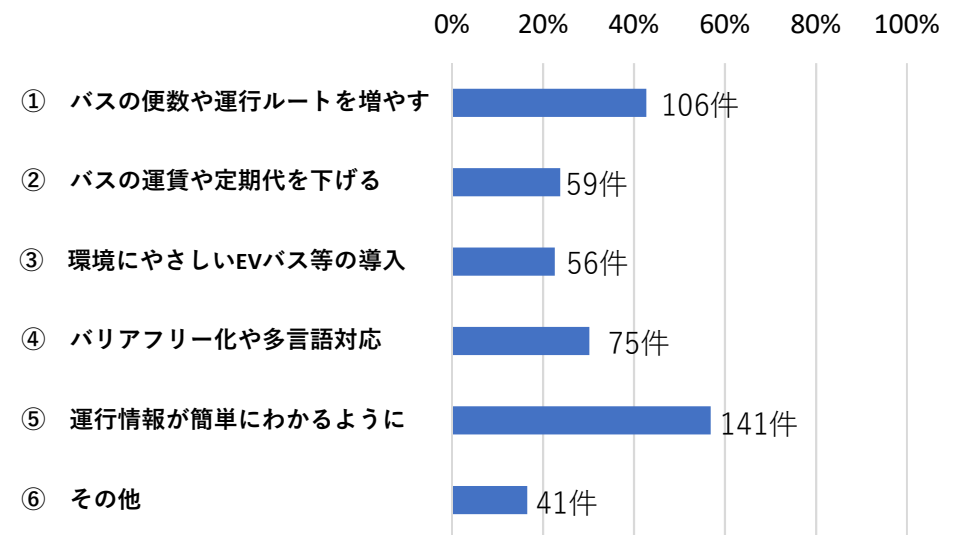
⇒バス停留所のデジタル化や情報のオープン化など、利便性が向上する施策を検討

問8 ルートや時刻表を調べる手段
※複数回答



回答数=341件 回答者数=248人

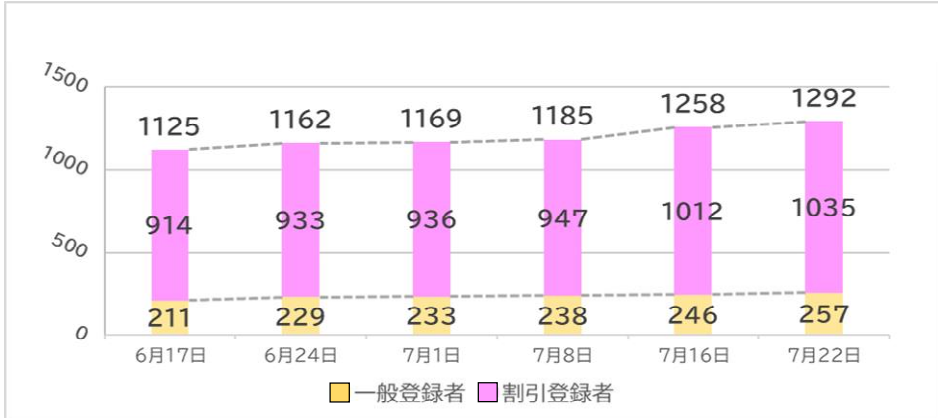
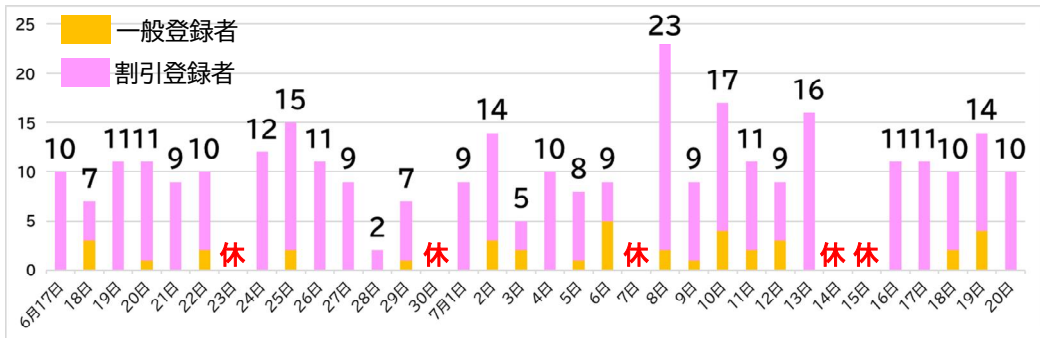
問9 バス路線維持に重要と考えること
※複数回答



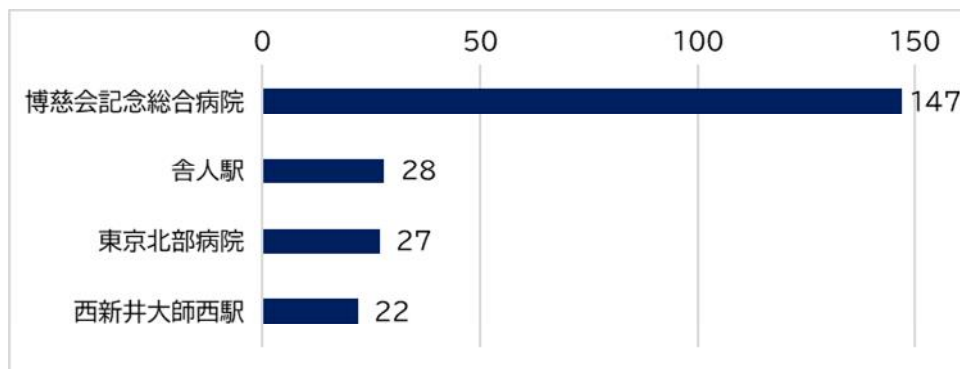
回答数=387件 回答者数=248人

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	足立区デマンドタクシー「足タク」の利用状況等について																																																																																																
所管部課名	都市建設部交通対策課 交通対策担当部新たな交通担当課																																																																																																
内 容	令和6年6月17日から実証実験を開始した、足立区デマンドタクシー「足タク」の利用者登録及び利用状況について以下のとおり報告する。 1 利用者登録数（7月22日時点） （1）1,292名（一般登録者257名、割引登録者1,035名）の利用者登録があり、当初の目標であった1,300名を概ね達成した。なお、地域別に見ると登録者数の多い順は、「鹿浜二丁目」「加賀二丁目」「入谷八丁目」となっている（別紙1 P22参照）。 <table><caption>利用者登録数（7月22日時点）</caption><thead><tr><th>日付</th><th>一般登録者</th><th>割引登録者</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>6月17日</td><td>211</td><td>914</td><td>1125</td></tr><tr><td>6月24日</td><td>229</td><td>933</td><td>1162</td></tr><tr><td>7月1日</td><td>233</td><td>936</td><td>1169</td></tr><tr><td>7月8日</td><td>238</td><td>947</td><td>1185</td></tr><tr><td>7月16日</td><td>246</td><td>1012</td><td>1258</td></tr><tr><td>7月22日</td><td>257</td><td>1035</td><td>1292</td></tr></tbody></table> 2 利用状況（7月20日時点） （1）1日当たりの利用件数 実証実験開始からの総利用件数は310件となっており、1日当たりの平均利用件数は10.6件となった。なお、一般登録者の1日当たりの利用件数は1.3件にとどまっている。 <table><caption>利用状況（7月20日時点）</caption><thead><tr><th>日付</th><th>一般登録者</th><th>割引登録者</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>6月17日</td><td>10</td><td>7</td><td>17</td></tr><tr><td>6月18日</td><td>11</td><td>11</td><td>22</td></tr><tr><td>6月19日</td><td>9</td><td>10</td><td>19</td></tr><tr><td>6月20日</td><td>12</td><td>15</td><td>27</td></tr><tr><td>6月21日</td><td>11</td><td>9</td><td>20</td></tr><tr><td>6月22日</td><td>2</td><td>7</td><td>9</td></tr><tr><td>6月23日</td><td>9</td><td>14</td><td>23</td></tr><tr><td>6月24日</td><td>5</td><td>10</td><td>15</td></tr><tr><td>6月25日</td><td>8</td><td>9</td><td>17</td></tr><tr><td>6月26日</td><td>23</td><td>9</td><td>32</td></tr><tr><td>6月27日</td><td>17</td><td>11</td><td>28</td></tr><tr><td>6月28日</td><td>9</td><td>9</td><td>18</td></tr><tr><td>6月29日</td><td>16</td><td>11</td><td>27</td></tr><tr><td>6月30日</td><td>11</td><td>11</td><td>22</td></tr><tr><td>7月1日</td><td>10</td><td>10</td><td>20</td></tr><tr><td>7月2日</td><td>14</td><td>10</td><td>24</td></tr></tbody></table> （2）利用頻度の高い乗降スポット（上位4位） ア 医療施設の乗降スポットが半数以上を占めている。	日付	一般登録者	割引登録者	合計	6月17日	211	914	1125	6月24日	229	933	1162	7月1日	233	936	1169	7月8日	238	947	1185	7月16日	246	1012	1258	7月22日	257	1035	1292	日付	一般登録者	割引登録者	合計	6月17日	10	7	17	6月18日	11	11	22	6月19日	9	10	19	6月20日	12	15	27	6月21日	11	9	20	6月22日	2	7	9	6月23日	9	14	23	6月24日	5	10	15	6月25日	8	9	17	6月26日	23	9	32	6月27日	17	11	28	6月28日	9	9	18	6月29日	16	11	27	6月30日	11	11	22	7月1日	10	10	20	7月2日	14	10	24
日付	一般登録者	割引登録者	合計																																																																																														
6月17日	211	914	1125																																																																																														
6月24日	229	933	1162																																																																																														
7月1日	233	936	1169																																																																																														
7月8日	238	947	1185																																																																																														
7月16日	246	1012	1258																																																																																														
7月22日	257	1035	1292																																																																																														
日付	一般登録者	割引登録者	合計																																																																																														
6月17日	10	7	17																																																																																														
6月18日	11	11	22																																																																																														
6月19日	9	10	19																																																																																														
6月20日	12	15	27																																																																																														
6月21日	11	9	20																																																																																														
6月22日	2	7	9																																																																																														
6月23日	9	14	23																																																																																														
6月24日	5	10	15																																																																																														
6月25日	8	9	17																																																																																														
6月26日	23	9	32																																																																																														
6月27日	17	11	28																																																																																														
6月28日	9	9	18																																																																																														
6月29日	16	11	27																																																																																														
6月30日	11	11	22																																																																																														
7月1日	10	10	20																																																																																														
7月2日	14	10	24																																																																																														

- イ その中でも「博慈会記念総合病院」の利用が非常に多い。
- ウ 医療施設の他には「舎人駅」「西新井大師西駅」の鉄道駅も上位を占めている。ただし、舎人駅を利用している方も、駅周辺の医療施設を利用しているのではないかと推測される。
- エ 上位4位の乗降スポットを利用している方は入谷地域、鹿浜地域にお住まいの方が多い傾向にある（別紙2 P23参照）。



(3) 曜日別及び時間帯別の利用状況

曜日別にみると金曜日の利用が少ないものの、他の曜日では平均的に利用されている。

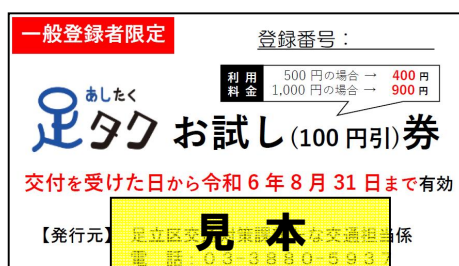
また、時間帯別にみると午前中（12時）までの利用が全体の約70%、15時までの利用が約93%となっている。

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	計
～9:00	18	15	10	12	6	11	72
～10:00	7	12	11	6	5	11	52
～11:00	8	8	9	9	7	9	50
～12:00	9	7	6	7	5	6	40
～13:00	3	4	4	1	5	3	20
～14:00	5	3	7	11	4	6	36
～15:00	3	3	4	3	2	4	19
～16:00	1	4	2	2	6	2	17
～17:00	0	0	2	0	2	0	4
	54	56	55	51	42	52	310

3 利用促進策について

(1) 一般登録者への利用促進

現在、割引登録者の利用が約87%を占めている。そのため、一般登録者が足タクを利用するきっかけとなるよう、割引登録者と同額（100円引）で利用できる「お試し券」を7月22日時点で利用者登録済の方（257名）へ1人につき2枚配布した。また、今後の制度の見直し等の参考とするため、アンケート回答依頼も同封した。



(2) 割引登録者への利用促進

ア 割引対象者（高齢者）は、ほとんどが通院利用である。そのため、乗降スポット以外のかかりつけ医（町医者）への行き方の問合せが複数来ており、令和4年度に実施したアンケートで利用頻度の高い以下の医療施設を追加する。

(ア) クリニックステーション舎人（舎人一丁目11番先）

(イ) 中田医院（鹿浜四丁目22番先）

(ウ) なかじま整形外科小児科クリニック（皿沼一丁目16番先）

イ アンケート調査の実施

今後の制度の見直し等の参考とするため、足タクを利用したことのある方及び利用したことがない方合わせて約200名へアンケート調査票を送付した。

4 タクシー事業者ヒアリング

令和6年7月23日に事業者調整会議を実施し、以下の意見が挙げられた。

- (1) 現在のところ、足タクの実証実験開始前と後ではタクシーの利用者数に大きな変化はみられない。
- (2) 電話受付の際、近郊にいる乗務員に配車できるかの確認をしたのち、利用者へ折り返し電話をしている状況。
- (3) 高齢者の配車依頼が多いため、電話対応にも時間がかかっている。
- (4) 日々の日報や、乗務員ごとの売り上げ管理も時間が取られている。

5 今後の取組みについて

引き続き利用実態を注視していくことや、タクシー事業者との意見交換を重ねながら、9月中には一般及び割引登録者のアンケート回答分析が終了する見込みのため、10月頃を目途にタクシー事業者の手数料も含め事業内容の見直しについて検討していく。

足タク利用者登録数（地域別）

別紙 1

	一般	割引	合計		総人口 R6.6.1時点	(参考)総人口に 対する登録割合
入谷一丁目	21	28	49		2,238	2.2%
入谷二丁目	12	20	32		1,768	1.8%
入谷三丁目	3	24	27		1,108	2.4%
入谷四丁目	1	10	11		925	1.2%
入谷五丁目	4	9	13		530	2.5%
入谷六丁目	0	0	0		45	0.0%
入谷七丁目	3	25	28		593	4.7%
入谷八丁目	15	94	109		936	11.6%
入谷九丁目	1	21	22		866	2.5%
皿沼一丁目	13	29	42		1,482	2.8%
皿沼二丁目	8	18	26		1,460	1.8%
皿沼三丁目	5	34	39		1,160	3.4%
加賀一丁目	14	38	52		1,433	3.6%
加賀二丁目	17	100	117		2,633	4.4%
谷在家一丁目	7	16	23		1,945	1.2%
谷在家二丁目	5	7	12		1,689	0.7%
谷在家三丁目	14	76	90		2,331	3.9%
鹿浜一丁目	0	17	17		956	1.8%
鹿浜二丁目	20	117	137		3,196	4.3%
鹿浜三丁目	15	29	44		2,196	2.0%
鹿浜四丁目	17	46	63		2,138	2.9%
鹿浜五丁目	14	69	83		2,083	4.0%
鹿浜六丁目	22	83	105		2,547	4.1%
鹿浜七丁目	9	20	29		2,307	1.3%
鹿浜八丁目	7	33	40		2,000	2.0%
椿一丁目	2	3	5		259	1.9%
椿二丁目	4	25	29		1,578	1.8%
江北六丁目の一部	1	30	31			
江北七丁目の一部	3	14	17			
堀之内一丁目の一部	0	0	0			
	257	1035	1292		42,402	

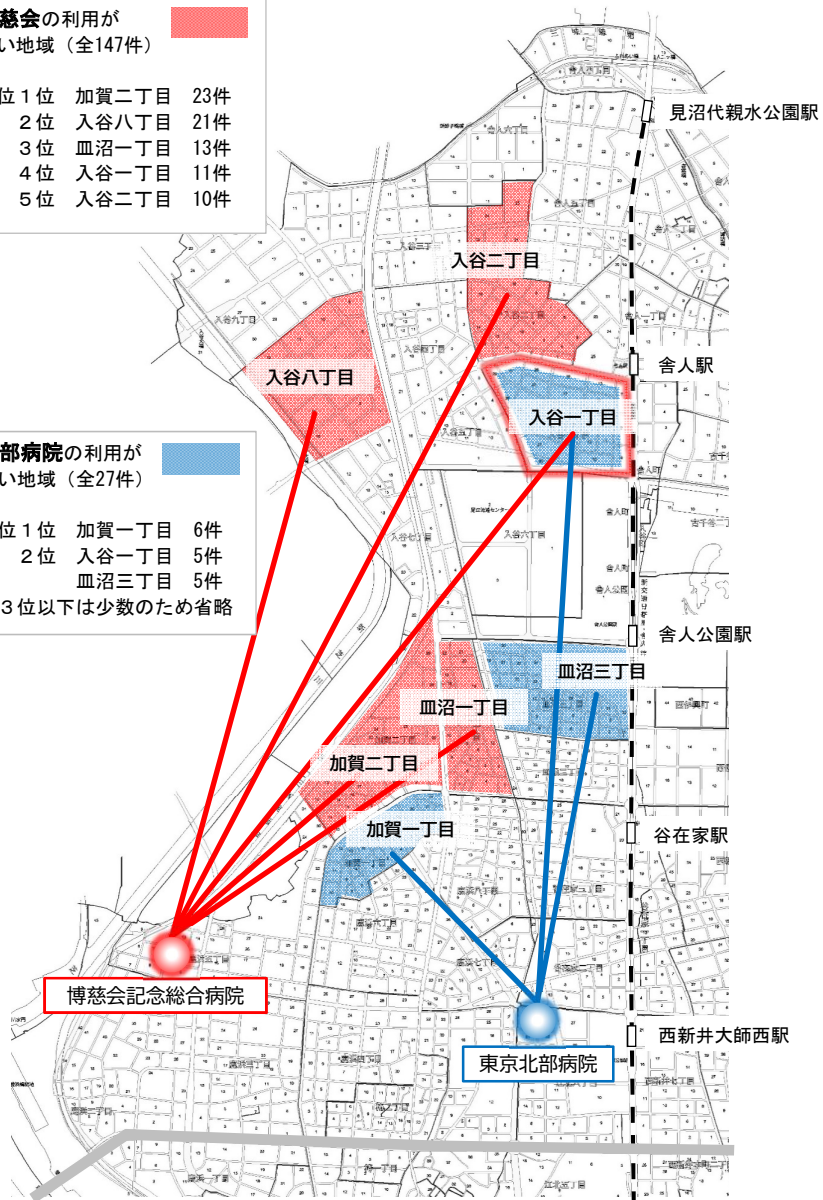
利用頻度の高い医療施設 × 利用地域

博慈会の利用が
多い地域（全147件）

上位 1 位 加賀二丁目 23件
2 位 入谷八丁目 21件
3 位 血沼一丁目 13件
4 位 入谷一丁目 11件
5 位 入谷二丁目 10件

北部病院の利用が
多い地域（全27件）

上位 1 位 加賀一丁目 6件
2 位 入谷一丁目 5件
血沼三丁目 5件
※ 3 位以下は少数のため省略



利用頻度の高い鉄道駅 × 利用地域

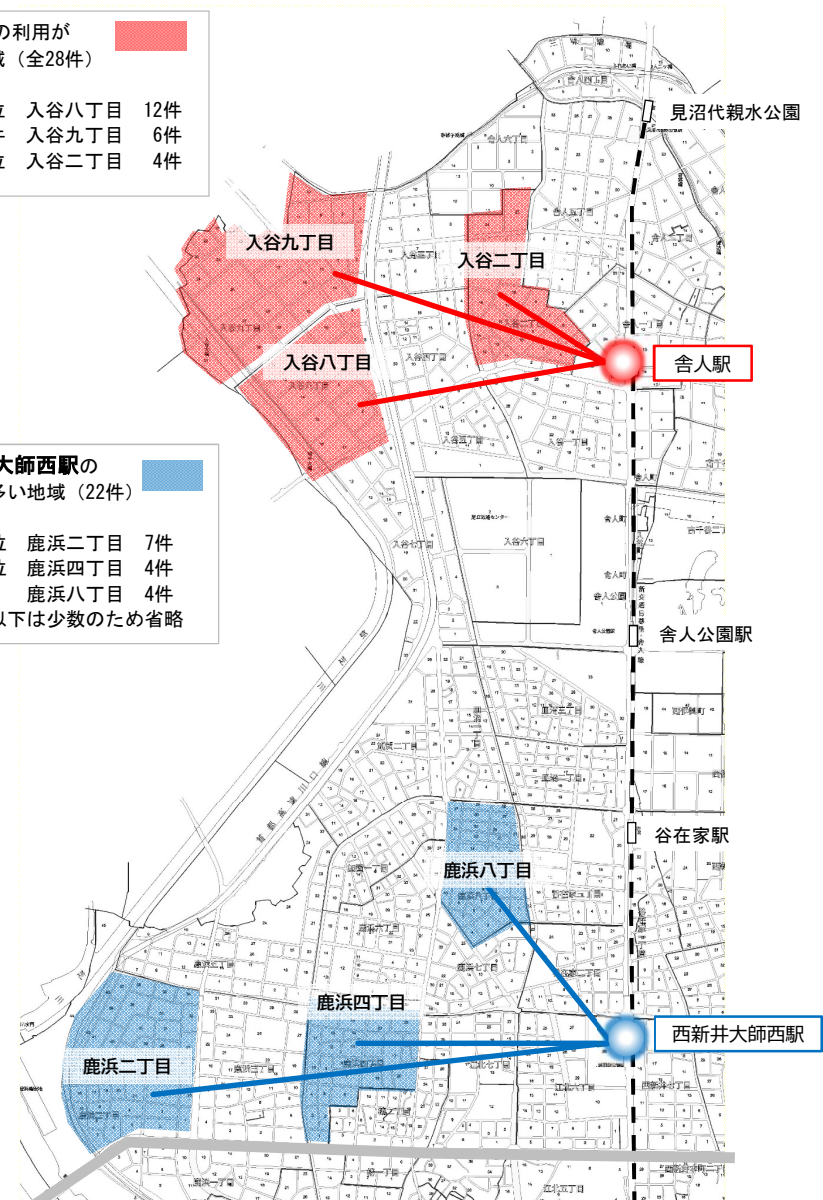
別紙2

舎人駅の利用が
多い地域（全28件）

上位 1 位 入谷八丁目 12件
2 位 入谷九丁目 6件
3 位 入谷二丁目 4件

西新井大師西駅の
利用が多い地域（22件）

上位 1 位 鹿浜二丁目 7件
2 位 鹿浜四丁目 4件
鹿浜八丁目 4件
※ 3 位以下は少数のため省略



総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件名	「足立区地域内交通導入サポート制度」における各地域の取組み状況等について															
所管部課名	都市建設部交通対策課 交通対策担当部新たな交通担当課															
内容	現在までの「足立区地域内交通導入サポート制度（以下「サポート制度」という。）」における各地域の取組み状況について、以下のとおり報告する。 1 サポート制度について （１）基本的な流れ（概要） 地域課題の把握 既存公共交通の評価 必要性確認 交通手段導入の 地域内需要調査 収支予測 運行計画検討 関係機関協議・調整 実証実験 本格運行 （２）サポート制度の手引きについて サポート制度を活用したい地域等へ、制度の内容をわかりやすく伝えるため手引きを作成中である。手引きは令和6年10月頃を目途に冊子化していく。 2 常東地区での取組み 令和6年3月に京成バスが運行していた北千住線（北千住駅～南千住駅）が廃止になることから、令和5年10月に地域より、株式会社アイシンが全国展開している乗合型デマンド交通（チョイソコ）の導入要望があった。これまでの取組みは以下のとおり。 <table><tr><th colspan="2">時期</th><th>取組み内容</th></tr><tr><td rowspan="5">令和6年</td><td>1月～2月</td><td>地域内アンケート調査実施</td></tr><tr><td>5月</td><td>常東地区町会・自治会連合会へアンケート結果報告、サポート制度の概要説明</td></tr><tr><td>6月</td><td>地域、株式会社アイシン、区で意見交換会実施</td></tr><tr><td>7月</td><td>第1号 地域内交通ニュース発行</td></tr><tr><td>8月</td><td>北千住地域の交通事業者ヒアリング（予定）</td></tr></table>		時期		取組み内容	令和6年	1月～2月	地域内アンケート調査実施	5月	常東地区町会・自治会連合会へアンケート結果報告、サポート制度の概要説明	6月	地域、株式会社アイシン、区で意見交換会実施	7月	第1号 地域内交通ニュース発行	8月	北千住地域の交通事業者ヒアリング（予定）
	時期		取組み内容													
令和6年	1月～2月	地域内アンケート調査実施														
	5月	常東地区町会・自治会連合会へアンケート結果報告、サポート制度の概要説明														
	6月	地域、株式会社アイシン、区で意見交換会実施														
	7月	第1号 地域内交通ニュース発行														
	8月	北千住地域の交通事業者ヒアリング（予定）														

3 花畑地域での取組み

バス交通ほどの需要は見られなかったが、花畑地域では限られた地域内を移動する交通手段導入要望がある。これまでの取組みは以下のとおり。

時期		取組み内容
令和6年	2月	花畑地区町会・自治会連合会でサポート制度の概要説明
	5月～7月	地域との意見交換会（計4回）
	7月	花畑地域の交通事業者ヒアリング

4 扇地域での取組み

令和6年3月にはるかぜ10号が運行終了となったことから、別の交通手段導入に関する要望があった。現在の取組みは以下のとおり。

時期		取組み内容
令和6年	3月、6月	地域との意見交換会（計2回）
	7月	興本地区町会・自治会連絡会でサポート制度の概要説明

5 今後の流れについて

各地域の進捗状況を確認しながら、引き続き交通課題解決のため地域と連携しながら進めていく。

なお、サポート制度の説明については上記3地域その他、令和6年6月に保塚連合町会・自治会、7月に舎人地区町会・自治会連絡協議会で実施している。また、現在作成しているサポート制度の手引きが完成次第さらなる周知を図っていく。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件名	はるかぜ協働事業対象路線の運賃改定等について																				
所管部課名	都市建設部交通対策課 交通対策担当部新たな交通担当課																				
内容	はるかぜ協働事業7路線において、以下のとおり運賃の改定等を行う予定のため報告する。 1 運賃改定について 令和6年度から、足立区との協働事業としている2事業者（日立自動車交通株式会社、株式会社新日本観光自動車）の7路線について、以下のとおり運賃の改定を行う。 (1) 対象路線 ア はるかぜ1号（西新井・綾瀬線）（日立自動車交通） イ はるかぜ5号（北千住駅西側地域循環）（新日本観光自動車） ウ はるかぜ6号（北千住・鹿浜線）（新日本観光自動車） エ はるかぜ8号（小台・宮城循環）（新日本観光自動車） オ はるかぜ9号（青井・亀有線）（日立自動車交通） カ はるかぜ11号（堀之内・椿循環）（新日本観光自動車） キ はるかぜ12号（西新井・亀有線）（日立自動車交通） (2) 運賃改定の考え方 ア 運行エリアが競合する民間バス事業者の経営圧迫とならないよう、周辺のバス路線と同一賃金とする。 イ 少子高齢化等の影響から、シルバーパス利用者に比べて減少が顕著となっている通勤通学等の日常利用者への影響を最小限にするため、定期券については据え置きとする。 (3) 運賃等の改正内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">運賃</th><th colspan="2">定期券</th></tr> <tr> <th>大人</th><th>小人</th><th>通学定期</th><th>通勤定期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td><td>210 円</td><td>110 円</td><td colspan="2" rowspan="2">変更なし</td></tr> <tr> <td>変更後</td><td>230 円</td><td>120 円</td></tr> </tbody> </table> (4) 運賃の改定日 令和6年10月1日（火） (5) 利用者等からの意見聴取 令和5年10月の道路運送法の改正により、自治体が運行経費を負担する路線の運賃の協議をする際は、事前に住民、利用者その他利害関係者への意見聴取が義務付けられたため、以下のとおり実施した。					運賃		定期券		大人	小人	通学定期	通勤定期	変更前	210 円	110 円	変更なし		変更後	230 円	120 円
	運賃		定期券																		
	大人	小人	通学定期	通勤定期																	
変更前	210 円	110 円	変更なし																		
変更後	230 円	120 円																			

ア 期間

令和6年7月1日～令和6年7月31日

イ 周知方法

区ホームページやSNS

ウ 回答方法

電話、FAX、メール

エ 回答件数

6件（別紙のとおり P29参照）

（6）今後の予定について

年 月		内 容
令和6年	8月下旬	足立区地域公共交通活性化協議会分科会にて運賃改定の協議
		運輸局へ運賃改定の届出
	9月上旬	区ホームページ及び広報紙等で周知
	10月1日	運賃の改定

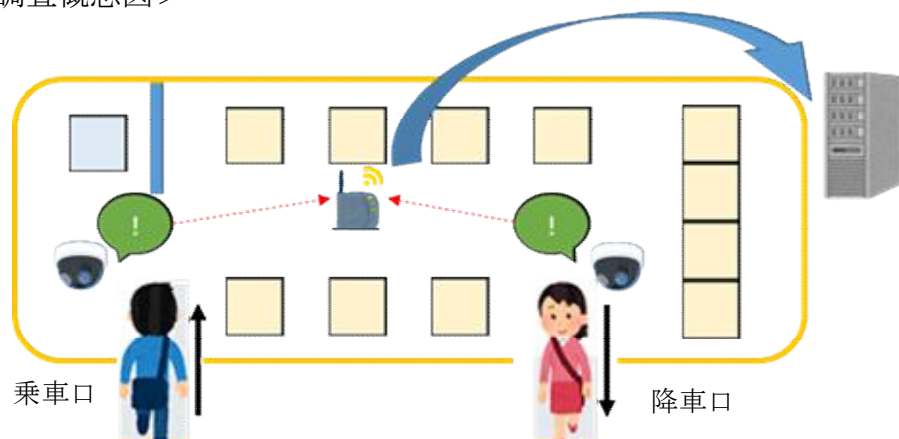
2 バス運行の最適化を目的とした乗降調査の実施について

はるかぜ協働事業7路線について、今後の路線再編や運行ダイヤの最適化検討の基礎資料とするため、社会実験バス「ブンブン号」と同様のカメラセンサーを用いた以下の乗降調査を実施し、利用の多い区間や時間帯等を把握する。

（1）調査方法

バス乗車口及び降車口にカメラセンサーを取付け、バス停毎の乗車数及び降車数を計測し、乗降数を把握する。

<調査概念図>



（2）調査開始日

10月1日からの運賃改定による利用者数の影響を把握するため、令和6年9月1日から7路線で調査を開始する。調査期間は概ね1年半程度を予定している。

3 交通系 I Cカード決済対応について

今まで現金のみの対応となっていた、株式会社新日本観光自動車が行うはるかぜ4路線が、以下のとおり交通系 I Cカード決済対応となるため、はるかぜの全路線で交通系 I Cカードの利用が可能となる。

(1) 対象となる路線

- ア はるかぜ5号（北千住駅西側地域循環）
- イ はるかぜ6号（北千住・鹿浜線）
- ウ はるかぜ8号（小台・宮城循環）
- エ はるかぜ11号（堀之内・椿循環）

(2) 運用開始日

令和6年10月1日（火）

(3) 周知方法

9月上旬頃に区ホームページ及び広報紙で周知を予定。

はるかぜ協働事業路線の運賃改定に関する意見

【運賃改定に肯定的な意見 4件】

- (1) はるかぜ値上げについて、減便、撤退するくらいなら値上げ幅が大きくなっていいので、各事業者さんに無理のないような運賃設定をしてほしいです。またシルバーパスについても、東京都全体の問題になるとは思いますが、自己負担額を上げる、中間区分を作るなどの対策が必要なのではないでしょうか。
- (2) 新日本観光自動車様運行のはるかぜにいつも乗車させて頂いております。乗車料金改定とのこと、昨今の事情を鑑みるに致し方ないかと存じます。
- (3) バスの運賃改定について賛成です。最近のバス運行終了について、とても厳しい状況だと感じ、足立区でこのような事が起こってしまうのかと悲しくなりました。一律同じ料金という運賃の設定に限界を感じます。花畑や大木、舎人などは特に高齢者が多い印象です。バスが無くなるのは困るけどバスがないと行動もしにくい、利用の多い高齢者はシルバーパスだし運賃の利益は上がらない。若い人は電車の利用しやすい地区に住むから、高齢者の多い地区でバスの運行が厳しくなるのは当然の事態だと思います。なので、バスの運賃を距離料金にすること、シルバーパスの廃止または条件の見直しをした方が良いのではないかと考えます。
- (4) 区内の中でも、バス会社により運賃が違うのには以前から疑問を持っていましたが、会社の規模により仕方無いのかと思っていました。しかし、今テレビなどでもやっている人員不足など考えると値上げも仕方無いと思われます。主人もバスの運転士ですが、路線ではなく特定なのできっちりした勤務時間ですので、自由があります。路線だと、早番から中抜けがありそこからの終バスまでとシフトは本当に大変で、体調管理も儘ならないです。少しでも、今の路線を失くさないで確保していただけるなら、運賃値上げは賛成です。

【運賃改定に否定的な意見 2件】

- (1) はるかぜ運賃値上げ絶対反対です。値上げ分も含め税で補填すればいい。
- (2) 特に、日立自動車の場合は、ほぼ、あちこちに運行やり過ぎたろ！？拳句に人手足りません！運行減らします。運賃あげますでは？意味わからん！？減便と値上げ反対！完全に利用者無視の減便はやり過ぎではないか？？

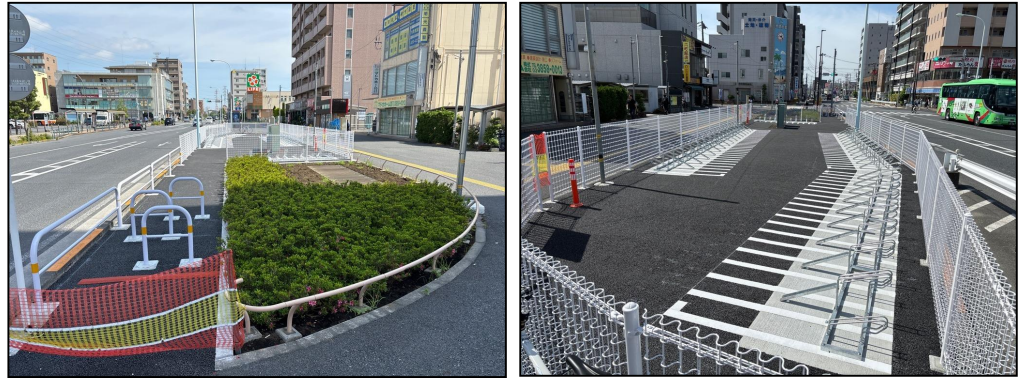
総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件名	六町駅周辺自転車駐車場の整備状況について																				
所管部課名	都市建設部交通対策課 駐輪場対策担当課 総務部資産管理課																				
内容	区営六町駅自転車駐車場は、六町駅前区有地活用に伴い、令和7年8月末に廃止が予定されている。当該自転車駐車場の代替として整備した自転車駐車場の管理運営方法について、以下のとおり報告する。 1 新設自転車駐車場の整備完了について (1) 新設自転車駐車場の配置図 (2) 全体スケジュールについて <table><tr><th colspan="3">令和7年8月末日まで</th><th colspan="3">令和7年9月から</th></tr><tr><td rowspan="4">区営六町駅自転車駐車場</td><td>定期</td><td>約1,200台</td><td rowspan="4">新設自転車駐車場</td><td>定期</td><td>ア 都道140号 87台 ※ 令和6年9月から利用開始 イ JA用地 約430台 エ 民間駐輪場 600台以上</td></tr><tr><td>一時</td><td>約600台</td><td>一時</td><td>ウ 2号公園予定地約650台</td></tr><tr><td>合計</td><td>約1,800台</td><td>合計</td><td>約1,800台</td></tr></table>	令和7年8月末日まで			令和7年9月から			区営六町駅自転車駐車場	定期	約1,200台	新設自転車駐車場	定期	ア 都道140号 87台 ※ 令和6年9月から利用開始 イ JA用地 約430台 エ 民間駐輪場 600台以上	一時	約600台	一時	ウ 2号公園予定地約650台	合計	約1,800台	合計	約1,800台
令和7年8月末日まで			令和7年9月から																		
区営六町駅自転車駐車場	定期	約1,200台	新設自転車駐車場	定期	ア 都道140号 87台 ※ 令和6年9月から利用開始 イ JA用地 約430台 エ 民間駐輪場 600台以上																
	一時	約600台		一時	ウ 2号公園予定地約650台																
	合計	約1,800台		合計	約1,800台																

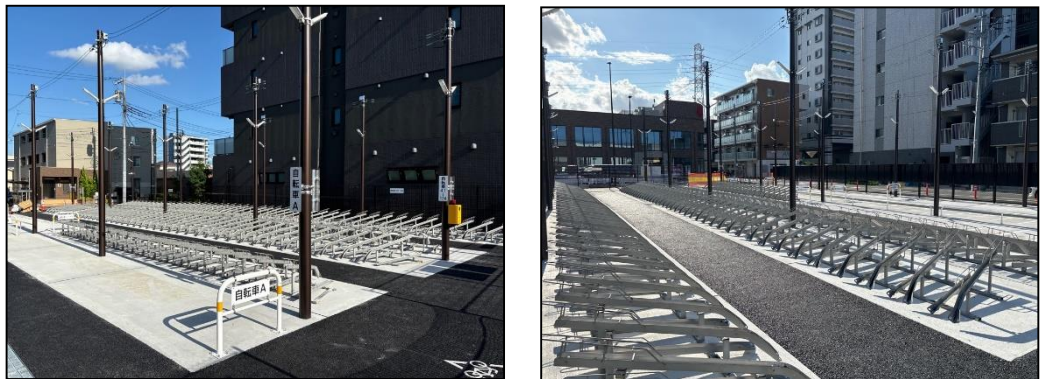
(3) 現地写真

ア 都道補助第140号線（歩道部）



定期利用 87台

イ JA用地



定期利用 約430台

ウ 六町区画整理事業用地（2号公園予定地）



一時利用 約650台

2 新設自転車駐車場の今後の管理運営について

駅前区有地活用事業者に決定した東神開発株式会社（以下「事業者」という。）より、昨今の物価上昇に伴い、想定を上回る工事費の高騰が見込まれたため、計画の抜本的な見直しが必要との申し出があった。

そのため、当初令和6年7月に予定していた区から事業者への土地引渡し並びに事業者による工事着手は、1年程度遅れる見込みとなった。

区が整備した自転車駐車場については、以下のとおり、管理運営していく。

(1) 管理運営方法

ア 都道補助第140号線（歩道部）

六町駅に近く、利便性が高いことから、令和6年9月から既存区営自転車駐車場の定期利用者のうち当選通知済の方を順次移行する。

イ JA用地

近隣民営駐輪場の運営に配慮し、開放せず閉鎖管理する。

ウ 六町区画整理事業用地（2号公園予定地）

近隣民営駐輪場の運営に配慮し、開放せず閉鎖管理する。

(2) 維持管理費用（歳出）の増加見込みについて

令和7年9月まで、既存の区営六町駅自転車駐車場は引き続き維持管理を行う必要があり、また、JA用地および六町区画整理事業用地（2号公園予定地）は閉鎖管理を行う必要があることから、以下のとおり維持管理費用がかかる。

項目	維持管理費用（歳出）
駐輪場の管理運営	約 7,680,000 円
防犯カメラ保守点検	約 510,000 円
合計 ①	約 8,190,000 円

※ 算出期間は、当初引渡し予定日の令和6年7月から現在引渡し予定日の令和7年8月末とする。

※ 来年度については、今年度の経費に基づいた見込み額で算出。

(3) 駐輪場利用料金（歳入）の増加見込みについて

当初、既存区営六町駅自転車駐車場は令和6年6月末で閉鎖予定であった。当該自転車駐車場を閉鎖した場合、一時利用が遠隔地（六町区画整理事業用地）となり無料となるなど、区歳入が減少予定であったが、継続することになり、引き続き区に歳入が入ってくる。

項目	駐輪場利用料金（歳入）
既存区営六町駅自転車駐車場（現在） ②	約 53,640,000 円
都道歩道部及びJA用地自転車駐車場（閉鎖後収入） ③	約 10,150,000 円
差引き④=②-③	約 43,490,000 円

※ 算出期間は、当初引渡し予定日の令和6年7月から現在引渡し予定日の令和7年8月末とする。

(4) 土地引渡し延期に伴う収支の比較

維持管理費用と駐輪場利用料金を比較すると、以下のとおり、歳入が大きく上回ることとなる。

項目	金額
駐輪場利用料金（歳入） ④	約 43,490,000 円
維持管理費用（歳出） ①	約 8,190,000 円
差引き④-①	約 35,300,000 円

	3 今後の方針について 事業者への土地引渡し並びに工事着手の時期に合わせて、閉鎖管理している自転車駐車を開放する。また、既存区営六町駅自転車駐車の利用者に駐輪場の不足等のご迷惑をお掛けすることのないよう、現地掲示のほか契約者全員に適宜通知していく。
--	---

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	綾瀬東自転車駐車場の民営から区営への変更について								
所管部課名	都市建設部交通対策課 駐輪場対策担当課								
内 容	1 これまでの経緯 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 期</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 58 年 10 月</td><td>区営綾瀬東自転車駐車場として開設</td></tr> <tr> <td>平成 25 年 3 月～ 令和 7 年 3 月</td><td>プロポーザル方式により事業者を選定し、芝園開発と「綾瀬東自転車駐車場整備運営事業に関する契約」を締結</td></tr> <tr> <td>令和 7 年 4 月</td><td>契約期間終了により、区営化する予定</td></tr> </tbody> </table> 2 契約内容 (1) 自転車駐車場の建物補強及び設備の新設改修等を事業者が行い、民営自転車駐車場として運営する。 (2) 契約満了時は、設備等を区に無償譲渡する。 ※ 改修費、運営費ともに事業者が自転車駐車場の収益で賄い、区の費用負担はない契約 契 約 先 芝園開発株式会社 期 間 平成 2 5 年 3 月 2 8 日～令和 7 年 3 月 3 1 日 土地賃料 年額 1, 7 0 0 万円（芝園開発が区に支払う） 3 区営化する理由 当時、区営自転車駐車場の施設が老朽化のため、民間活用により区の費用負担なしで施設等の改修工事と管理運営を行う契約を締結した。 当該自転車駐車場は、利用者が多く（約 3, 8 0 0 台）歳入が大きい ため、契約期間終了後は、区営自転車駐車場として運営していく。 4 区営に変更になる日 令和 7 年 4 月 1 日	時 期	内 容	昭和 58 年 10 月	区営綾瀬東自転車駐車場として開設	平成 25 年 3 月～ 令和 7 年 3 月	プロポーザル方式により事業者を選定し、芝園開発と「綾瀬東自転車駐車場整備運営事業に関する契約」を締結	令和 7 年 4 月	契約期間終了により、区営化する予定
時 期	内 容								
昭和 58 年 10 月	区営綾瀬東自転車駐車場として開設								
平成 25 年 3 月～ 令和 7 年 3 月	プロポーザル方式により事業者を選定し、芝園開発と「綾瀬東自転車駐車場整備運営事業に関する契約」を締結								
令和 7 年 4 月	契約期間終了により、区営化する予定								

5 施設概要

(1) 所在地 足立区綾瀬三丁目11番6号（綾瀬駅東口高架下）



(2) 施設名 cycle24h 綾瀬東駐輪場（変更後は綾瀬東自転車駐車場）

(3) 現在の料金体系

自転車駐車場（自転車のみ）	
一時（368 台）	定期（3,417 台）
24 時間 150 円	1 階 2,340 円
	2 階下段 2,140 円
	2 階上段 1,830 円

6 今後の方針

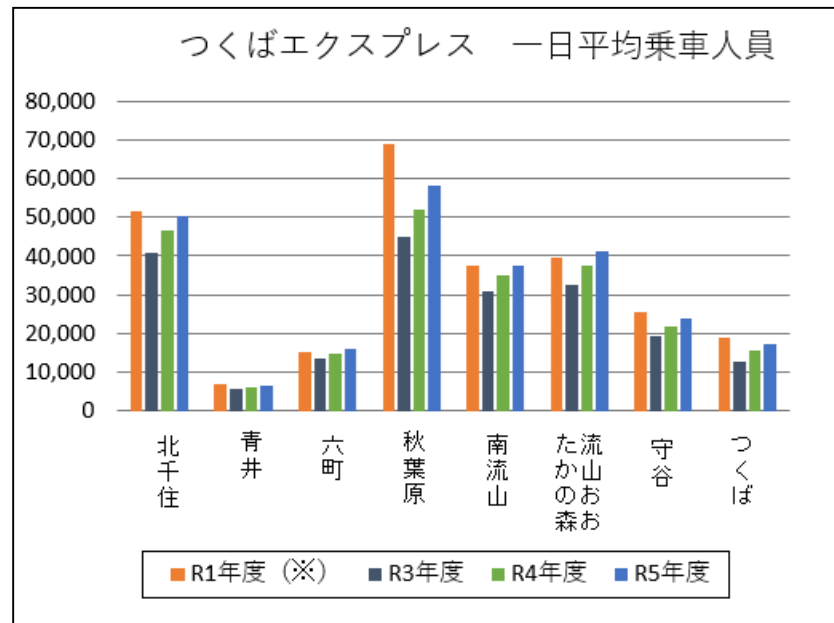
令和7年度からの区営に向けて現事業者からの引継ぎ手続きを進めるとともに、利用者への周知を丁寧に進めていく。

なお、料金については、現在と同額とする方向で検討中。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について																																															
所管部課名	都市建設部交通対策課																																															
内 容	つくばエクスプレス及び日暮里・舎人ライナーの令和5年度実績（令和5年4月～令和6年3月）について、以下のとおり報告する。																																															
	1 つくばエクスプレスの令和5年度輸送実績																																															
	（首都圏新都市鉄道株式会社提供）																																															
	（1）年間輸送人員																																															
	1億3,868万人																																															
	（令和4年度 1億2,638万人 9.7%増）																																															
	※ 参考 新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度は																																															
	1億4,311万人																																															
	（2）一日平均輸送人員																																															
	38万3千人																																															
（令和4年度 34万9千人 3万4千人増）																																																
（3）混雑率																																																
154%																																																
（令和4年度 138% 16ポイント増）																																																
（4）主要駅別の一日平均乗車人員																																																
（単位 人）																																																
<table><tr><td>駅 名</td><td>令和 1年度（※）</td><td>令和 3年度</td><td>令和 4年度</td><td>令和 5年度</td></tr><tr><td>北千住</td><td>51,540</td><td>40,822</td><td>46,489</td><td>50,323</td></tr><tr><td>青井</td><td>6,680</td><td>5,671</td><td>6,090</td><td>6,445</td></tr><tr><td>六町</td><td>15,231</td><td>13,324</td><td>14,867</td><td>16,173</td></tr><tr><td>秋葉原</td><td>68,955</td><td>44,876</td><td>52,007</td><td>58,295</td></tr><tr><td>南流山</td><td>37,560</td><td>31,064</td><td>34,909</td><td>37,577</td></tr><tr><td>流山おおたかの森</td><td>39,714</td><td>32,529</td><td>37,690</td><td>41,074</td></tr><tr><td>守谷</td><td>25,559</td><td>19,192</td><td>21,927</td><td>23,758</td></tr><tr><td>つくば</td><td>18,671</td><td>12,654</td><td>15,413</td><td>17,273</td></tr></table>				駅 名	令和 1年度（※）	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	北千住	51,540	40,822	46,489	50,323	青井	6,680	5,671	6,090	6,445	六町	15,231	13,324	14,867	16,173	秋葉原	68,955	44,876	52,007	58,295	南流山	37,560	31,064	34,909	37,577	流山おおたかの森	39,714	32,529	37,690	41,074	守谷	25,559	19,192	21,927	23,758	つくば	18,671	12,654	15,413	17,273
駅 名	令和 1年度（※）	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度																																												
北千住	51,540	40,822	46,489	50,323																																												
青井	6,680	5,671	6,090	6,445																																												
六町	15,231	13,324	14,867	16,173																																												
秋葉原	68,955	44,876	52,007	58,295																																												
南流山	37,560	31,064	34,909	37,577																																												
流山おおたかの森	39,714	32,529	37,690	41,074																																												
守谷	25,559	19,192	21,927	23,758																																												
つくば	18,671	12,654	15,413	17,273																																												
※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の値として参考に掲載																																																



※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の値として参考に掲載

2 日暮里・舎人ライナーの令和5年度輸送実績

(東京都交通局提供)

(1) 年間輸送人員

3, 294万9千人

(令和4年度 3, 077万7千人 7. 1%増)

※ 参考 新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度は

3, 321万人

(2) 一日平均輸送人員

9万人

(令和4年度 8万4千人 6千人増)

(3) 混雑率

171%

(令和4年度 155% 16ポイント増)

3 今後の方針

(1) つくばエクスプレスについては、8両化事業の早期実現と混雑対策を、沿線区市と連携しながら首都圏新都市鉄道株式会社へ引き続き要望する。

(2) 日暮里・舎人ライナーについては、朝夕の混雑緩和対策及び令和4年度からの新型車両更新が速やか、かつ確実に進むよう東京都へ引き続き要望する。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について
所管部課名	都市建設部交通対策課
内 容	メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について、以下のとおり報告する。 1 環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会総会の開催結果について (1) 日 時 令和6年7月11日（木）午後2時30分～ (2) 場 所 江戸川区総合文化センター（江戸川区） (3) 参 加 者 メトロセブン促進協議会会員 (4) 主な内容 ア 令和5年度事業報告及び決算報告について イ 令和5年度会計監査報告について ウ 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について エ 活動経過報告 (5) 勉 強 会 ア 題 名 「次世代交通とまちづくり」 イ 主な内容 (ア) 未来の交通を考える上でのアプローチ手法 過去の潮流から未来を計画 未来のありたい姿から今何をすべきか (イ) 宇都宮 LRT 開業による沿線地域活性化の事例紹介 宇都宮駅東側（LRT 沿線）の人口が7%増 等 ウ 講 師 早稲田大学理工学術院教授 森本 章倫 氏

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年8月23日

件 名	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会活動の取組み状況について
所管部課名	都市建設部交通対策課
内 容	1 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会活動の結果について (1) 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業完了に伴う国土交通大臣への訪問 ア 日 時 令和6年7月29日(月) 午後4時20分～ イ 参 加 者 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会員 14名 東武鉄道株式会社 2名 ウ 訪問状況   (2) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会の解散について ア 令和6年3月末の事業完了をもって、本協議会の目的である「鉄道高架化の実現」を達成したため、上記(1)同日付で協議会解散の決議を諮り、全員一致で承認を得た。